

日本バイオアッセイ研究センターにおける試験手順書からの逸脱行為がなされた可能性のある試験リスト  
(2015年以降に試験が開始された厚生労働省が依頼した強制経口投与本試験)

※赤字が第2回資料4からの追加・変更箇所

物質No.	試験番号	化学物質	試験方法	実験動物	試験開始日	試験終了日	試験結果 <報告書の結論>	発がん性WG での試験結 の評価	試験結果が 評価された 発がん性WG	備考	
1	870	4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2015.09.30	2016.03.15	陰性	陰性	H28年度	第1回	
	900		遺伝子改変動物を用いた 中期発がん性試験	rasH2マウス(♂)	2017.09.08	2019.03.29	some evidence	陽性	R2年度	第1回	
	901			rasH2マウス(♀)	2017.09.08	2019.03.29	no evidence				
	906			p53K0マウス(♂)	2018.03.06	2019.10.31	no evidence				
	907			p53K0マウス(♀)	2018.03.06	2019.10.31	no evidence				
2	871	1-フェニルアミノ-4-イソプロピルアミノベンゼン	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2015.09.30	2016.03.15	陽性	陽性	H28年度	第1回	
3	879	p-トルエンスルホン酸メチル	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2016.09.12	2017.02.15	陰性	陰性	H28年度	第3回	
4	880	m-クロロフェノール	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2016.09.12	2017.02.15	陰性	陰性	H28年度	第3回	
5	898	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)ヘキサヒドロ- 1,3,5-トリアジン-2,4,6-トリオン	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2017.09.08	2018.02.15	陰性	陰性	H29年度	第1回	
	912		遺伝子改変動物を用いた 中期発がん性試験	rasH2マウス(♂)	2018.09.07	2020.03.31	clear evidence	-	(未実施)		試験報告書提出済み
	913			rasH2マウス(♀)	2018.09.07	2020.03.31	clear evidence				試験報告書提出済み
	923			p53K0マウス(♂)	2019.03.05	2020.11.30	clear evidence				試験報告書提出済み
	924			p53K0マウス(♀)	2019.03.05	2020.11.30	clear evidence				試験報告書提出済み
6	899	カルシウム=ジホルマート	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2017.09.08	2018.02.15	陰性	陰性	H29年度	第1回	
7	910	4-アミノフェノール	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2018.09.10	2019.02.01	陰性	陰性	H30年度	第2回	
8	911	o-ニトロアニリン	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2018.09.10	2019.02.01	陰性	陰性	H30年度	第2回	
9	927	5-クロロ-2-ニトロアニリン	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2019.10.01	2020.02.14	陰性	陰性	R元年度	第3回	
10	928	酢酸亜鉛(II)	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2019.10.01	2020.02.14	陰性	陰性	R元年度	第3回	
11	940	3,5,5-トリメチルヘキサノ酸	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2020.09.10	2021.02.01	-	-	(未実施)		試験報告書未提出
12	941	炭酸ジフェニル	ラット肝中期発がん性試験	ラット(♂)	2020.09.10	2021.02.01	-	-	(未実施)		試験報告書未提出
13	933	2-クロロベンゾイルクロリド	遺伝子改変動物を用いた 中期発がん性試験	rasH2マウス(♂)	2020.03.05	2021.10.29	-	-	(未実施)		試験報告書未提出
	934			rasH2マウス(♀)	2020.03.05	2021.10.29					試験報告書未提出
	942			p53K0マウス(♂)	2020.10.26	2022.06.30					試験報告書未提出
	943			p53K0マウス(♀)	2020.10.26	2022.06.30					試験報告書未提出

日本バイオアッセイ研究センターにおける試験手順書からの逸脱行為がなされた可能性のある試験リスト（続き）  
 (2015年以降に試験が開始された厚生労働省が依頼した強制経口投与本試験)

物質 No.	試験番号	化学物質	試験方法	試験動物総数	要注意動物観察記録に 記録されていた動物数				投与期間中に死亡等した動物数				評価方法案に基づく除外対象動物			
					溶媒 対照群	低用量 投与群	中用量 投与群	高用量 投与群	溶媒 対照群	低用量 投与群	中用量 投与群	高用量 投与群	溶媒 対照群	低用量 投与群	中用量 投与群	高用量 投与群
1	870	4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール	ラット肝中期発がん性試験	88				1				1				
	900		遺伝子改変動物を用いた 中期発がん性試験	100	1							1				
	901			100		1		1		1						
	906			100		1	1	5		1	1	5		1	5	
	907			100				7				7			6	
2	871	1-フェニルアミノ-4-イソプロピルアミノベンゼン	ラット肝中期発がん性試験	88				2				1			1	
3	879	p-トルエンスルホン酸メチル	ラット肝中期発がん性試験	88				1				1				
4	880	m-クロロフェノール	ラット肝中期発がん性試験	88			1	2			1				2	
5	898	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)ヘキサヒドロ- 1,3,5-トリアジン-2,4,6-トリオン	ラット肝中期発がん性試験	88												
	912		遺伝子改変動物を用いた 中期発がん性試験	100	1			1	1			1	1			
	913			100		1		2		1		2	1			
	923			100			4	17			4	17				
	924			100		1	5	16		1	4	16		1	1	
6	899	カルシウム=ジホルマート	ラット肝中期発がん性試験	88												
7	910	4-アミノフェノール	ラット肝中期発がん性試験	88												
8	911	o-ニトロアニリン	ラット肝中期発がん性試験	88												
9	927	5-クロロ-2-ニトロアニリン	ラット肝中期発がん性試験	88	1			1	1						1	
10	928	酢酸亜鉛 (II)	ラット肝中期発がん性試験	88												
11	940	3,5,5-トリメチルヘキサン酸	ラット肝中期発がん性試験	88				5				2			3	
12	941	炭酸ジフェニル	ラット肝中期発がん性試験	88			1				1					
13	933	2-クロロベンゾイルクロリド	遺伝子改変動物を用いた 中期発がん性試験	100				5				3	病理組織診断中のため不明			
	934			100	1	2	1	3	1	2	1	2				
	942			100												
	943			100												

※評価方法案に基づく除外対象動物とは、ラット肝中期発がん性試験においては、「要注意動物観察記録に記録されており、かつ、投与期間中に死亡等していない動物」。遺伝子改変動物を用いた中期発がん性試験においては、「要注意動物観察記録に記録されており、かつ、腫瘍が発生していない動物」。(2-クロロベンゾイルクロリドについては病理組織診断中で腫瘍発生状況が明らかになっていないため段階で不明)